



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話 53 2111 内線240



ヤッター

1992

6

No.314

金木小学校運動会

春の叙勲

花田・伊藤・白川の各氏に瑞宝章

勲三等瑞宝章

地方自治功勞

花田 一さん

金木北新町



花田一氏は、昭和22年4月金木町議会議員に初当選以来昭和26年金木町長当選、昭和30年には町村合併後の初代金木町長に就任し、町政に多大の功績を残し、昭和34年4月には青森県議会議員（7期）として県政発展の中心的人物としての活躍が認められ、この度の受章となりました。

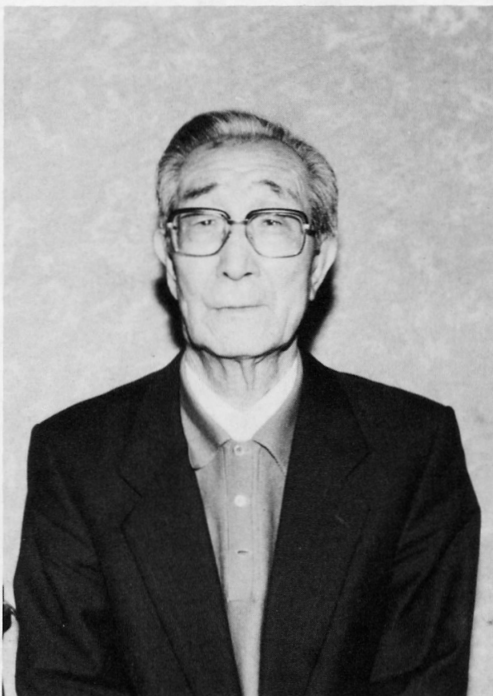
花田氏は「町長、県議と長く政治にかかわってきた私を支えて下さった方々へ心から感謝申し上げます。」と語っていました。

勲五等瑞宝章

労働行政事務功勞

伊藤 哲彦さん

嘉瀬下小栗崎



伊藤哲彦氏は、昭和14年12月から昭和47年4月に退職す

るまで、職業安定所の所長や県失業保険審査官などを歴任

し、長年の労働行政事務に携わった功績を認められての受賞となりました。
伊藤氏は「大変うれしくて、昔一緒にやった仲間の支えがあったから」と感謝の意を語っていました。

勲六等瑞宝章

消防功労

白川政春さん

金木沢部



白川政春氏は、昭和21年5月警防団に入団以来、昭和54年3月からは消防団副分団長として、昭和60年6月退職まで40年間の長きに亘り、消防

西村万吉氏に子ども会育成で表彰状

5月15日行われた平成4年度青少年育成青森県民会議総会において金木町喜良市の西村万吉（金木町子ども会育成



表彰状を手にする西村万吉さん

市地区子ども会を結成し、その後育成会長として子ども会育成に尽力され、子ども会活動を軌道に乗せた功績は大きいと評価されての受賞となりました。

中谷委員が人権擁護局長表彰

人権擁護委員として永年に及高揚に貢献された功績により、中谷定雄委員が6月3日



表彰を受けた中谷定雄さん

の人権擁護委員協議会及び青森県人権擁護委員連合会総会の席上で、法務省人権擁護局長表彰を受けました。

金木町選挙管理委員決まる

金木町選挙管理委員の任期満了に伴い、新しい委員が決まりました。



委員長 中西慎一



委員長 泉谷佳正



委員 鳴海 栄



委員 加藤 勇

吉報 転作面積軽減

表1 平成4年度転作等目標面積の軽減状況

区分	①基本目標面積	②補正後の面積	③軽減面積 ①-②
全国	830,000 ha	700,000 ha	130,000 ha
東北	155,338	126,998	28,340
青森県	27,130	21,410	5,720
金木町	564.0	460.0	104.0
金木地区	289.1	235.8	53.3
喜良市地区	82.0	66.9	15.1
嘉瀬地区	175.4	143.1	32.3
中柏木地区	17.5	14.2	3.3

町では国の施策を受け、平成4年度の水田農業確立後期対策の転作等目標面積の軽減措置を行った。

今回の措置は、国が平成3年産米の作柄が、台風、低温日照不足等から全国的に「やや不良」となったこと等に伴い、主食用等、米の生産量が

計画（九八五万トン）を六五万トン程度下回ると見込まれ、平成5米穀年度（5年10月末）の安定供給を図る上で必要な量を確保することが困難となるため、単年度限りではあるものの、全国で十三万haの転作の軽減を行ったものである。この軽減措置に基づく国が

表2 平成4年度市町村別転作等目標面積の軽減状況

市町村名	基本目標面積	補正後の面積	軽減面積
金木町	564 ha	460 ha	104 ha
五所川原市	1,568	1,255	313
板柳町	308	237	71
中里町	933	761	172
鶴田町	564	442	122
市浦村	150	122	28
小泊村	11	9	2
北五計	4,098	3,286	812

ら青森県への配分は、これまでの転作等目標面積が基本となっているものの平成3年の水稲等農作物の被害状況も勘案されており、二万一四一〇haの転作目標面積配分で五千七二〇haの軽減となる。（表1）

金木町全体への転作軽減面積は一〇四haのうち、金木地区五三・三ha喜良市地区一五・一ha嘉瀬地区三二・三ha中柏木地区三・三haの軽減が施される。（表1）

この軽減措置により、町全体で一萬九二〇俵（一反歩当り一〇・五俵で計算）、金額にして一億七千七百四十七二〇円（一等米はだか一俵一萬六千二百六十四円）、農家一戸当り八・五七俵、一三萬九千四二二円の生産が見込まれ、転作した場合の収入を相殺しても、微少なながら農家の増収につながることに

自然ふれあい センター開設



浪岡町の県民の森梵珠山に「県立自然ふれあいセンター」が7月オープンの見通しとなりました。

センターは約千㎡の木造平屋建で、梵珠山の動物をパネルや模型でやさしく解説した「展示ホール」、ビデオ、レザードスクなどの映像音響機器を備えた「レクチャールーム」、巣箱作りなどの簡単な木工ができる「工作室」等を備えた施設で、子供から大人まで年間を通してご利用いただけることとなりますので皆さんのお越しをお待ちしております。



▲男寿しクラブ
野宮 誠監督
「メンバー不足にめげず郡大会目指してケガのないように頑張ろう」

監督さん今年の目標は?



始球式をする田中町長

待望の朝野球開幕

今年も来ました朝野球シーズン。眠い目をこすりながら13チーム247人が一同に会し、5月18日芦野グラウンドで開会式が行われた。
前年度A級優勝金木野球クラブ、B級優勝藤枝太陽クラブから優勝旗が返還され、金木野球クラブ岩村弘男主将が力強い選手宣誓をした後、田中町長による始球式で幕を開けた。



▲金木野球クラブ
秋元 建一監督
「念願の県大会出場目指す」



▲CITY II
白川 鉄也監督
「やっぱり県大会目指します」



▲金木町役場
山中喜弘助監督
「1番とは言わないが郡大会出場を目指す」



▲アポロ吉崎
中谷 弘道監督
「今年も楽しむ野球をします」



▲下山自動車
松川 尚義監督
「万年B級で楽しんできたけど今度はA級にも行ってみたい」



▲金木町役場B
白川 貢監督
「3位入賞を目指す」



▲藤枝太陽クラブ
原田 満監督
「まずは1勝。あわよくばA級に残りたい」



▲川倉愛球クラブ
其田 悠司監督
「勝負は時の運。さわやかなあせを」



▲上町クラブ
角田 省逸監督
「ケガをしないで楽しむ野球をし、もう一度A級を目指す」



▲県信用クラブ
津島 和人監督
「全員一丸となってB級制覇」



▲イーグルス
石川 孝弘監督
「中年パワーを発揮し2回目の優勝を狙っています」



▲朝日クラブ
福長 勝義監督
「他のチームにかわいがられるよう、ケガなく一生懸命やるだけ」

「自然農法」に意欲を燃やす原田さんに インタビュー

自然の力を最大限に引出し、安全で良質な農産物を生産しようと25年前自然農法に取りかかり、途中の挫折を乗り越え70歳の高齢にもかかわらず農業に意欲を燃やす原田勘衛門さんにインタビューを試みた。



苗作りも難しいと語る原田さん

— こんにちは。役場の広報担当です。自然農法の事で取材に来ました。

原田 ご苦労さんです。

— さっそくですけども、自然農法とは一体どういう方法なんでしょうか？

原田 自然農法というのは肥料も農薬も何も使わない、自

然の成り行きに任せて田んぼを作るといことです。

— 肥料も農薬も使わないのですか。

原田 はい。全然使いません。

— それで米ができるのですか？

原田 ちゃんとできますよ。— 有機栽培とは違うのですか？

原田 違います。有機栽培は

有機肥料を使って農薬も若干使っています。有機農法は有機肥料は使うけども農薬は使わないんです。

我々がやってる自然農法は全くどちら也使わないんです。— いつごろから始められたのですか？

原田 25年前にやったけども一時中断したんです。なぜ中断したかというと、その作った米を売る場所が昔はなかったんです。6年位前から買受けする所ができたから又始めたんです。

— またやったきっかけは？

原田 近年になって農薬汚染された物を食べれば体に良くないと騒がれて自然農法が注目されてきたのでまだ始めダノサ。米、野菜、魚とか全部自

然の物を完全に隔離された場所ので6カ月間食べばかなりの病気が治ることが確認されデそれからこう騒がれるようになったンダ。

— 病気がなおってしまいうんですか？

原田 科学的な詳しいことは知らないけども確からしい。

この米を食べて病気が治るんであればということでは儲けはとにかくとして人のためになればと思つて立ち上がったノサ。

— 自然農法を行うに当つて具体的にどのようなことをするのですか？

原田 まず土壌を作つて行かなければならない。これに尽きるの。

— 例えはどういうふうによ？

原田 問題は除草剤を使わなくてもいいように草が生えてこない土壌作り、そして肥料を使わなくてもいいような肥えた土作り。

— そんな事できるんですか？

原田 できますよ。カッターで細かく切つたワラを田に敷いて、だいたい3回ぐらい打つんだけども絶対深打ちはし



この土を見て下さいよ

ないで、乾燥させては打ち、乾燥させては打つというのがコツダノ。そうしてううちにワラがパサパサとなつて腐つてくるンダ。バクテリアが繁殖してそうなるンダノ。そして表土が軟らかくなつてくるノサ。

— 表土が軟らかくなればいいんですか？

原田 表土が軟らかいと草のタネがあつてもずっと沈んで行つてながなが上さ出でこれネグなるノサ。例えば沼のドロ口を持って来て肥料を入れダノド入れネノドで比重計で計ると、肥料入れたのはだんだん固くなつて来るンダイナ。— 表土の厚さは何cmくらいあ